



第69回

山新3P賞

山形新聞、山形放送が平和（ピース）
 繁栄（プロスペリティー）進歩（プログ
 レス）の3部門で県内の個人、団体をた
 たえる「山新3P賞」の2026年受賞者が
 決まりました。第69回の受賞者は1個人
 2団体です。各分野で積み上げた輝かし

い功績は本県の活性化と飛躍の原動力と
 なり、県民に勇気と希望を与えました。
 受賞者には、東北芸術工科大の峯田義郎
 名誉教授（山形市出身）が制作したブロンズ像＝写真＝と副賞100万円を贈呈し
 ＝13面に特集

進歩賞

山形銀行を母体とする女子バスケットボールチームとして1989年に創部。活動理念に「地域貢献」を掲げ、本県代表として戦う国民スポーツ大会（旧国民体育大会）の優勝を最大の目標とする。国スポは国体を含め4度の優勝を誇り、直近では2025年の第79回大会で10年ぶりに頂点に立った。選手は行員として勤務する傍ら練習に励み、クリニック開催による競技普及に努めている。

山形銀女子バスケット部 ライヤーズ

繁栄賞

北海道・東北唯一の食用米油のメーカーで、1949年に創業した。より健康に良いとされる米油を一般家庭に広めている。製造工程で発生する副産物の高付加価値創出に取り組み、食品や化粧品、肥料などの開発につなげている。2025年からは脱脂米ぬかや有機汚泥を活用した堆肥ペレットの製造を開始。事業領域を拡大しながら、農業や地域経済の活性化に貢献している。

三和油脂(童)

平和賞

本県を拠点に小説執筆を続け、不条理や理不尽の中でも、地方で懸命に生きる人たちの姿を描いてきた。これまで直木賞に3回ノミネートされるなど文壇に地歩を築いている。2025年に刊行し、直木賞にノミネートされた「逃亡者は北へ向かう」は、自身も両親を失った東日本大震災を背景にしており、画期をなす作品となった。現在、本紙で「カンパニョラの祈り」を連載している。

作家 柚月裕子さん(山形)

山形新聞、山形放送